



平成28年9月20日

広島大学大学院文学研究科
リテラ「21世紀の人文学」講座2016
倫理学・哲学を通して物の見方を考えてみよう
—あなたは西洋タイプ、それとも日本タイプ?—

広島大学大学院文学研究科では、社会連携事業の一環として、(公財)広島市文化財団、広島市との連携による公開講座を毎年開催しています。

今年度は下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

【日時】 平成28年12月3日(土) 13:30~16:40

【場所】 合人社ウェンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ)
北棟6階マルチメディアスタジオ
(広島市中区袋町6番36号)

【プログラム】

13:30~15:00 日本の物の見方とは?

[講師] 衛藤 吉則(文学研究科准教授:応用哲学・古典学講座)

15:10~16:40 西洋的な物の見方とは?

[講師] 碓 智樹(文学研究科准教授:応用哲学・古典学講座)

【受講料】 750円

【定員】 100名(定員を超える場合は抽選になります)

【申込方法】 はがき(一人1枚)に必要事項を記入し、以下の宛先へお申し込みください。電話・FAXでの受付は行っていません。

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号
(公財)広島市文化財団 ひと・まちネットワーク部
管理課「リカレント講座(広島大学)」係

【申込期間】 平成28年10月3日(月)~10月31日(月)

【お問い合わせ先】

広島大学文学研究科支援室 難波 さゆり
TEL: 082-424-6604 FAX: 082-424-0315
E-mail: bun-soumu@office.hiroshima-u.ac.jp

哲学・倫理学を通して物の見方を考えてみよう

- あなたは西洋タイプ、それとも日本タイプ? -

日時 / 平成28年12月3日(土) 13:30~16:40

会場 / 合人社ウエンディひと・まちプラザ
(まちづくり市民交流プラザ)
北棟6階マルチメディアスタジオ
(広島市中区袋町6番36号)

定員 / 100名(定員を超える場合は抽選)

受講料 / 750円

受講対象 / 高校生・一般

● 日本的な物の見方とは? (13:30~15:00)

講師 / 衛藤 吉則 (応用哲学・古典学講座 准教授)

はたして「日本的な物の見方」ってあるのでしょうか?わたしたちは、しばしば、「日本人は、個を全体の中に位置づける傾向があり、しかも言語表現においては論理があいまいで理性的というより情緒的だ」という意見を耳にします。本講義では、そのように評価される日本人の思考の特色について、その背景となる物の見方を中心に、哲学者や宗教家の言葉を参考にして描き出してみたいと思います。

● 西洋的な物の見方とは? (15:10~16:40)

講師 / 碓 智樹 (応用哲学・古典学講座 准教授)

明治期以来、日本人は知識や技術、社会制度、生活様式など様々な分野において積極的に西洋の文化を取り入れてきました。ある意味で日本人にとっては近代化=西洋化であったと言えるでしょう。では、そのような西洋文化の根底にはいったいどのような思想があるのでしょうか。本講義では「合理的・合理性」をキーワードに、西洋人の思考の特色を描き出してみたいと思います。

申込方法:はがき(一人1枚※往復はがきではありません。)に、①講座名、②郵便番号、③住所、④氏名(フリガナ)、⑤電話番号を記入し、下記の宛先へお申込みください。なお、電話・FAXでの申込受付は行っていません。定員を超える場合は抽選となります。

申込先:(公財)広島市文化財団 ひと・まちネットワーク部管理課「リカレント講座(広島大学)」係
〒730-0036 広島市中区袋町6番36号

申込期間:平成28年10月3日(月)~10月31日(月)

【問い合わせ先】

○広島大学大学院文学研究科
支援室(運営支援担当)
TEL 082-424-6604
FAX 082-424-0315

○(公財)広島市文化財団
ひと・まちネットワーク部管理課
TEL 082-541-5335
FAX 082-541-5611